

西尾市事務評価シート

事務No.	14-144	事務内容	健康づくりボランティア活動				
総合計画施策コード	423	事務開始年度	平成18年度		担当課名	健康課	
予算科目	04款 01項 04目	大事業	02	中事業		02	
事務事業名 (中事業名)	成人健康事業 (成人健康づくり事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民の健康づくりに対する認識を深め、個人・地域における健康づくりを推進する
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	会員の企画により、市内でのウォーキングや料理教室、体操教室を実施。会員の定例会、勉強会により会員同士の交流や知識の向上を図っている。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	426,230円	150,000円	145,500円
人工	0.0人	0.0人	0.0人
人件費②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	426,230円	150,000円	145,500円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	426,230円	150,000円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-276,230円	H29 総事務費③の対前年度比率	-64.81%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	活動内容を見直し、介護予防を活動内容として行っているボランティアグループ(8グループ)を、長寿課に所属を移行したため。		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	保険料	ボランティア活動保険料	18,250円
	委託料	ボランティア6団体活動委託料	130,810円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	活動回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		549	回	49	回	49	回
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	活動への市民参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		10,496	人	624	人	809	人
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	776円	3,061円		2,969円			

●事業の終期

事務No. 14-144

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成35年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	健康増進法に基づいた事業であるため、市町村健康増進計画（健康にしお21計画）の第3次計画に合わせ見直しをしていく。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	前身の健やか研究会の発足時である昭和59年に比べ、市民が健康に関する情報を入手しやすくなった時代背景を考慮し、事業内容を精査していく必要がある。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	平成35年度の抜本の見直しに向け、今後内容を見直ししながら、徐々に事業を縮小していく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	平成35年度の見直しに向け、各ボランティア団体に委託料を支払っている保険年金課とも話し合いを進めて行く必要がある。また、第3次西尾市食育推進計画に、健康づくりボラの活動が記載されているため、担当課と相談が必要。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：健康ボランティアによるウォーキング活動を年間18回実施。B市C市：健康づくり推進員に健康づくり事業を委託。各地区で栄養や運動の教室やウォーキングを実施 D市：同類事務の実施なし
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	各ボランティア団体に平成35年度の見直しについて周知し、今後の活動内容の見直しをしながら、縮小に向け検討していく。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	健康にしお21計画の目的の達成に向け、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	14-145	事務内容	食生活改善推進員活動				
総合計画施策コード	423		事務開始年度	平成22年度		担当課名	健康課
予算科目	04款	01項	04目	大事業	02		
事務事業名 (中事業名)	成人健康事業 (成人健康づくり事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	地域の食生活改善の推進に努め、実践活動の中核者として健康づくりに貢献する
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	生活習慣病予防食の料理教室、男性や親子を対象とした料理教室等を開催しバランスの良い食事を推進するとともに、健康課が実施する離乳食教室の協力をを行い、食生活改善の普及、健康づくりを図っている。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	45,500円	46,000円	46,750円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	752,798円	756,461円	765,741円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	752,798円	756,461円	765,741円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,663円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.49%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	保険料	活動保険料	5,250円	
	委託料	活動委託料	40,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	活動回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		44 回		44 回		40 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	活動への市民参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		773 人		670 人		610 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	17,109円	17,192円		19,144円			

●事業の終期

事務No. 14-145

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成35年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	健康増進法に基づいた事業であるため、市町村健康増進計画（健康にしお21計画）の第3次計画に合わせ見直しをしていく。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	教室の実施による健康づくりがどのくらい浸透しているか評価することは、数値で表すことができないため、評価が難しい。料理教室を開催しているが、ニーズや健康課題にあった事業の実施となっているか検討必要。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	平成35年の抜本の見直しに向け、今後の内容を見直ししながら、徐々に事業を縮小していく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	平成35年度の見直しに向け、食生活改善クラブに委託料を支払っている保険年金課とも話し合いを進めていく必要がある。また、第3次西尾市食育推進計画に、食生活改善クラブの活動が記載されているため、担当課と相談が必要。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：ヘルスマイトに料理教室や栄養講話を委託 B市：食生活改善協議会に4グループがあり、市の事業の協力や各活動別に市民を対象に活動 C市：健康づくり食ボランティア協議会に4グループがあり、市事業（食育教室や保健センター事業、地域事業）への協力や高齢者食事会や教室を実施 D市：勉強会や講習会、保育園巡回等を実施
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	食生活改善クラブに平成35年度の見直しについて周知し、今後の活動内容の見直しをしながら、縮小に向け検討していく。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	健康にしお21計画の目的の達成に向け、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--